

# 一般質問

9月定例会では、33人の議員が一般質問を行いました。質問の持ち時間は答弁を含めて1人60分。ここでは紙面の都合上、1人1項目を選び質問・答弁を要約し、ジャンルごとにまとめて掲載しました。

<会派の略称>

ガバナンス=ニューガバナンス    みらい=みらい・つばさ  
社民・市民=社民・市民ネット    市民連合=市民連合・あい



薬物乱用防止街頭キャンペーンの様子

## 道路・交通

### 京成本線立体化

守屋貴子議員(民主クラブ)

京成本線の立体化については、地下と高架を併用するF案が望ましいとの有識者委員会の提言に対し、決定

**検討が必要は問題の先送りでは  
全ての関係者との合意に取り組む**

にはもう少し時間がかかると思う。本市は平成21年度中に方向性を出す事となっていたが、まだ検討が必要というのは問題を先送りにしていると思えない。誠実に取り組んでいきたい。

### 東西線の騒音対策

松永修巳議員(緑風会)

東西線の江戸川を渡る鉄橋の騒音により、沿線住民が悩まされている。市としても東京地下鉄株式会社等

**現状改善の取り組みを  
調査実施し低減を申し入れていく**

に対して、現状改善を申し入れるなどの取り組みを行うべきではないか。また、信篤地域では地盤が弱い道路を大型車が通り、騒音・振動がひどいと思う。市として改善できないのか。答 鉄道の騒音対策については、事業者も対策可能なところから、順次実施している。市としても騒音調査を実施し、その結果を基に、事業者に騒音の低減を申し入れていきたい。また、道路については、状況を調査し、舗装補修工事に対応していきたいと考えている。

### JR市川塩浜駅へのバス路線

笹浪 保議員(公明党)

昭和63年にJR市川塩浜駅が開業し、塩浜市民体育館、市川斎場塩浜式場等が

**南行徳地域からの延伸計画の経過は  
平成21年12月開業目指し進めている**

地域は同駅へのバス路線が無く、地域住民は不便を感じている。住民から同駅への路線延伸の要望が多く寄附、市川斎場塩浜式場等が寄せられ、議会で何度も質問してきた。バス路線延伸計画のその後の経過を問う。答 新路線について、京成バスと京成トランジットバスと協議した結果、京成トランジットバスが12月の開業を目指して、作業を進めている。JR市川塩浜駅から南行徳駅付近を経由し、東西線浦安駅までを営業区間とし、1時間に1本程度のダイヤ編成で運行される。

### 行徳駅前広場のバリアフリー

大川正博議員(公明党)

行徳駅前広場の高齢者や障害者のための乗降スペース確保について、進捗状況を

**高齢者や障害者の乗降スペースを  
平成22年度に工事を実施したい**

た、同広場のバリアフリーを進めるためにも、修繕計画が必要ではないかと考え、パブリックコメントを行うことはどうか。答 乗降スペース確保については、周辺の商店会とも合意し、県警察本部との事前協議も整った。平成21年8月に県公安委員会に本協議書を提出しており、同委員会からの回答後、22年度に工事を実施したい。また、修繕計画については、地域からの要望の中で意見を聴き、その結果、必要であれば検討していきたい。

## 保健

### 肺炎球菌ワクチン接種

大場 諭議員(公明党)

肺炎にかかった高齢者の半数近くが肺炎球菌の感染によるものであり、重症化の大きな原因になっている。考えはないか。

**高齢者の命を守るために公費助成を  
国の方針明らかになった段階で対応**

全国でこれまで129市が行っている。本市でも肺炎で亡くなる高齢者の命を守るために、公費助成を行う考えはないか。答 高齢者の安全・安心を守るため、ワクチン接種の重要性は十分認識している。しかし、国はワクチンの有効性や安全性、費用対効果等を検討中であり、予防接種に関する方針も示されていない。国の方針が明らかになった段階で、本市としても総合的に検討し対応していきたい。

### 薬物乱用の防止

堀越 優議員(公明党)

薬物乱用が一般社会にもはびこっており、乱用者の低年齢化が特に問題である。青少年が人格の形成時

**本市の薬物乱用防止活動は  
街頭キャンペーンなど継続する**

期に薬物に染まると、社会に適應することが困難となり、人生を駄目にしてしまう。本市における薬物乱用防止活動の在り方と今後の対応策について問う。答 教育委員会では、市内小中学校で薬物乱用防止教室を毎年開催している。また、警察、中高生ボランティアなどの協力による薬物乱用防止街頭キャンペーンも毎年実施している。国は青少年の薬物乱用の根絶を重点目標としており、本市も関係機関と連携を図りながら継続的に推進していきたい。

### 動物愛護週間

並木まき議員(民主クラブ)

市川健康福祉センター(保健所)には合計485頭と、他市と比較して多くの犬・猫が本市市民から引き取られ、自治体としての取り組み

**飼養者のマナー改善の取り組みを  
愛護週間を活用し適正な飼養を進める**

れ、致死処分にされている。市民マナー条例改正に伴い、飼養者のマナー改善やモラル向上の良ききっかけとして、動物愛護週間を通して、動物愛護週間を通して、自治体としての取り組みを検討していきたい。

### 都市計画道路3・4・18号

勝亦竜大議員(社民・市民)

富貴島小学校より北700mの都市計画道路3・4・18号には、29カ所で遮音壁がないという。また、遮音壁をどう考えているのか。

**環境対策をどう考えているのか  
沿道住民の意向聴きながら取り組む**

壁を設置しない住宅に、市は防音サッシ等の対策を掲げているが、防音サッシにするエアコン無しでは生活が出来なくなる。環境対策をどう考えているのか。答 遮音効果と安全性、沿道環境への影響を考慮した、3・5mの透光性遮音壁の設置等を基本とした環境対策案を策定した。遮音壁の設置区間については、沿道の関係者に意向確認をしている。今後関係者の意向を聴きながら、環境保全目標の達成に向け、環境対策に取り組んでいきたい。